第１号（令和３年１０月１日発行）

バリアフリー推進レポート

第３回移動等円滑化評価会議中国分科会を開催しました。

本分科会は、平成３０年５月に一部改正されたバリアフリー法に基づき、国土交通省に設置された移動等円滑化評価会議の下に設置されており、障がいのある方々の参画を得て、各種団体等とともに中国地域におけるバリアフリー化の進展状況の把握・評価を行うものです。

第３回となる今回はコロナ禍ということもあり、感染症防止対策に努めて開催し、広島県外の自治体の担当者にはオンラインで参加頂きました。バリアフリー法に基づく国の基本方針に定める整備目標の達成状況の報告、新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大による課題や要望、心のバリアフリー等について意見交換を行いました。

日　　時　令和３年７月２０日（火）　１４：００～１６：００
場　　所　広島県民文化センター５階　ｻﾃﾗｲﾄｷｬﾝﾊﾟｽひろしま 501、502 大会議室
議　　事　①　移動等円滑化の進捗状況について
　　②　移動等円滑化に関する取組み事例の紹介について
　　③　心のバリアフリー・コロナに係るアンケート結果についての意見交換
　　④　まとめ
出 席 者　呉工業高等専門学校　環境都市工学分野　神田教授
　　(一社)　広島県身体障害者団体連合会、(一社)　広島県手をつなぐ育成会
　　(公社)　広島県精神保健福祉家族会連合会、(社福)　広島県視覚障害者団体連合会
　　広島難病団体連絡協議会、(社福)　広島県肢体障害者連合会
　　(一社)　広島県ろうあ連盟、NPO 法人　障害者生活支援センター・てごーす
　　(公社)　認知症の人と家族の会広島県支部、西日本旅客鉄道（株）広島支社
　　中国地方鉄道協会、中国バス協会、中国ハイヤー・タクシー連合会
　　(一社)　中国旅客船協会、広島国際空港（株）

中国分科会では、呉工業高等専門学校の神田教授が分科会長を務め、議事進行を行って頂きました。

はじめに、事務局から中国地域におけるバリアフリー化の進展状況や国の取り組みについて説明を行った後、施設設置管理者、関係協会、自治体よりバリアフリーに関わる取組報告がありました。

【中国バス協会】

続く意見交換は、事前に障がい当事者団体から提出頂いた意見・要望、上記報告をもとに行われ、「マスクをつけて話す人が多いため、口形が読み取れず困っている」など新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大による課題、「障がいに対する理解不足により、日常生活の中で適切なサポートが受けられなかった事例」など身近で感じた問題、「地元の小学生による施設への見学、小学校への講師派遣」など地域社会での啓発活動の取り組み報告、「ハード整備や政策決定過程への当事者参画の促進」など施設設置管理者への要望、行政の施策への提言、改善策の提案、といった活発な発言が障がい当事者団体からありました。

【広島県身体障害者団体連合会】

最後に、分科会長からは『人を尊重する社会の実現なくして心のバリアフリーもあり得ない。心のバリアフリーとは「人と人とのおもいやり、心遣い」この一言に尽きる。』として総括を頂き、閉会しました。

本分科会で頂戴した意見や要望は、本省で開催される移動等円滑化評価会議へ報告し、今後のバリアフリー施策にも反映していくこととしています。

【広島県肢体障害者連合会】

本分科会の詳細・配布資料は以下の URL をご参照下さい。

「第３回移動等円滑化評価会議中国分科会（中国運輸局ホームページ）」
URL：https://wwwtb.mlit.go.jp/chugoku/00001_01092.html